

こんしょう 今週のことば「一粒の麦」

せいしょ
《聖書》ヨハネによる福音書 12:20-33

ひとづら なまめ ち お し おおく
「一粒の麦が地に落ちて死ねば、多く
の実を結ぶ」という言葉は、教会の歴史
の中で、イエスのあがないの死を意味す
るものとして受けとめられてきました。
しかし、それは一つの解釈であり、必ず
しも皆が同じように解釈する必要もあり
ません。

せいしょ なか
聖書の中で、「あがない」という言葉
がよく使われているのは、エジプト脱出
についての箇所です。エジプト脱出は、
けいやく かか むす
契約と深く結びついています。『わたし
は主である。わたしはエジプトの重労働
の下からあなたたちを導き出し、奴隸の
みぶん すぐ だ か おお
身分から救い出す。腕を伸ばし、大いな
しんばん
る審判によってあなたたちをあがなう。
そして、わたしはあなたたちをわたしの
たみ 民とし、わたしはあなたたちの神となる』
(出エジプト6:6-7)。

せいしょ なか つか
聖書の中で使われている「あがない」
は、解放の意味で使われています。身代
きん はら どれい か もど いっぽんてき
金を払って奴隸を買い戻すという一般的
いみ どれい う み
な意味では、奴隸はあくまでも受け身の
じょうたい けいやく かいはう ひと
状態です。契約ですから解放される人も
よ 呼びかけに答えなければなりません。

イエスの死は、神がイエスの死において
ひとびと どれい じゅうたい かいはう
人々を奴隸の状態から解放すること
いみ ひとびと
を意味しています。これは、今まで人々
みづか かみ ちから さ
が自らのうちにある神の力に気がつかない
なん ちから た もと
いで、何らかの力を他に求めようとして
じゅうたい かいはう しめ
いた状態からの解放を示しています。

わたし し ちよくめん
もし、私たちがイエスの死に直面して、
めざ し ひだ
目覚めないなら、イエスの死は無駄にな
ってしまいます。弟子たちがイエスを見
す てき み
捨てて逃げ去ったままであったのなら、
でし し
弟子たちにとってイエスの死は、ただ挫
せつ しつぼう でき ごと お
折と失望をもたらすだけの出来事で終わ
っていたでしょう。

し でし し おそ
イエスの死は、弟子たちに死を恐れない
ゆうき じ ぶん ちから ものごと かいわ
い勇気と、自分の力で物事を解決してい
こうとする行動力を与えました。弟子た
ちはイエスの死後、いろんな所へ出かけ
て行って、イエスの福音を人々に伝えて
いきました。

わたし でし ねね かみ
私たちも弟子たちと同じように、神が
なに 何かをしてくださることだけを求めない
じ ぶん せつこうくてき じっこう
で、自分でできることを積極的に実行し
ていくことが必要なのです。そうすれば、
ひとづら なまめ ひつよう
一粒の麦であったイエスから多くの実を
みのらせることができるのであります。

しじゅんせつだい しゃじつ わん たきり
四旬節第5主日B年 (滝野)